とうきょう　すくわく

プログラム　活動報告書

園　名	もりのおがわ保育園
期　間	10月１回、11月２回、１月１回、３月２回）/令和６年10月から令和７年３月まで
実践者	新里早苗　（主任）
対象年齢人数	３歳～５歳１１名

テーマ　ミクロ

テーマを設定する

聴診器でいろいろな音を聞いてみよう
ミクロの世界を体験しよう！

環境をデザインする

〇準備物
　マイクロスコープ・顕微鏡・虫メガネ・聴診器・拡大むしかご・パソコン・IPAD

探求活動を実践する　影

〇活動内容
　聴診器・・・外へ飛び出す前に、それぞれの心臓の音を聞く。しかし、音をなかなか見つけられず、諦めかけた時に、「そうだ！走ったら心臓がどきどきするでしょ。走ってみよう！」の言葉に皆が、その場で駆け足をして、心臓の音を聞いてみる。すると、「どきどき」と力強い心臓の音が聴診器をつたって聞こえてきた。こどもたちは、歓声をあげた。
その後、外へでて、風の音。木の音。排水溝の水が流れる音に耳を寄せる

　マイクロスコープ・顕微鏡・・・小さなものが大きく見えることを知る。初めは、身近なもの、皮膚、爪、髪の毛などをみていた。興味が広がっていき、テラスに落ちている葉っぱ、給食室からもらってきた玉ねぎなどをみる。ミクロの世界とリアルな世界が初めは、つながらなかったようだったが、少しずつ理解してきたよう。

振り返り・気づき

振り返り
　今回は、聴診器、マイクロスコープの使用方法や興味を持つ事に終始した。使い方をすぐに覚え、大人が側にいない時の方が、わくわく感が増すようで色々なものを見たり、機械をいじりながら、使い方を学んでいるように感じた。

反省・次回への課題

３歳児には、難しいため、５歳児が主に使用する。次回は、外で様々なものを拾ってきて、マイクロスコープでみてみたい。